



三次中央会報

ロータリークラブ

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南 1-5-5
グランラッセー3次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/角谷俊典

幹事/栗本清秀

●2018~19年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになる

●2018~2019年度 三次中央RCスローガン

広げよう ロータリーの心
増やそう ロータリーの友

■本日のプログラム 会員卓話/親睦委員会

中島清貴君、上田秀樹君、和田ひとみ君

■次回例会日時 2019年2月25日(月) 12:30~

■次回プログラム DVD鑑賞/ロータリー情報委員会

「ロータリーの沿革」「ポールハリスライブ」

■第1250回例会記録

●日時.....2019年2月4日(月)12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ロータリーソング「奉仕の理想」.....全員

●ゲスト紹介

広島県議会議員 下森宏昭様

■開会挨拶.....角谷会長

2月は平和と紛争予防/紛争解決月間です

みなさん、こんにちは。

本日は職業奉仕委員会担当例会です。ゲストでお越しいただいておりますのは、広島県議会議員の下森宏昭様です。心惹かれるお話を期待しております。どうぞよろしくお願ひします。

早いもので、新年を迎え、もう1ヶ月が経とうとしております。昨日2月3日は節分でしたが、皆さん、恵方巻きは食べられましたか。最近では節分の豆まきよりもこちらの方が話題となっておりますね。恵方巻きの大量廃棄問題で、農水省が書面を出すほどのフードロスの深刻さが何かと話題となっております。世界の貧困地域などを考えますと、フードロスを出している業者の一人として心に引っかかるものがあります。皆さんはこの件についてどう感じ、どうお考えになりますでしょうか。

さて、2月は平和と紛争予防/紛争解決月間です。最近ではシリアを逃れてヨルダンへ、また南スーダンから隣国ウガンダへ、そしてミャンマーからバングラディッシュへ多くの難民、避難民が絶えない状況となつ

ております。難民の方々の置かれる状況においても支援の行き届かない中でそのニュースを聞くたびに胸が打たれます。

ロータリーでは奉仕プロジェクト、平和フェロシップ奨学金など様々な形で紛争の根底にある諸問題、例えば貧困、不平等、民族間の緊張、教育機会の欠如、資源の不均衡などに取り組んでいるようですが、私はまだよく理解できておりません。この機会に難民支援活動について、私たちに何ができるか考えてみたいと思います。

最後に、ロータリーの友2月号に我がクラブの投稿記事が掲載されております。ご覧ください。



■ロータリーアンの行動規範.....高野会員

2月23日はロータリー創立記念日です。今日はロータリーアンの行動規範を唱和いただきます。

■幹事報告.....栗本幹事

- 本日午後7時よりグランラセーレにおいて第8回理事役員会を開催します。
- 次週2月11日は建国記念日で休会です。
- 4月27日IMの出欠表を配布しています。

■出席報告.....水野委員長

●第1247回 12月17日

会員数	41名	Make-up	0名
欠席	2名	出席合計	39名
欠席者の出席希望	2名	出席率	100%

●第1249回 本日の出席は41名中38名です。

■ロータリー情報委員会.....松本委員長

- ロータリーの友2月号の読みどころを紹介します。
- 横組3ページ、IR会長のメッセージに目を通してください。世界各地を訪れてクラブを見て回って、活性化のアプローチとして影響力の大きい奉仕プロジェクトをしよう、ということが書いてあります。
 - 横組7～11ページ、難民を知るということで、難民について載っています。私たちには身近ではありませんが、過去最高の6850万人もいるということです。
 - 横組16～19ページ、創立50周年を迎える米山梅吉記念館について載っています。

- 縦組25ページ、先日かぜくきに乾燥機を贈った記事が載っておりますので目を通してください。

■SAA.....大井SAA

- 会員誕生日…中重君



- 会員ニコニコBOXご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 27,000円



(三次よみやま60)

戦前戦後の三次郵便局こぼれ話

ご存知でしたか!?三次町の大王町に三次郵便局があったことを。今は島呉服店となっているあの位置です。S20年過ぎ頃まで。それが正確にはいつからいつまでのことだったかは、今回調べた中では分かりませんでした。(井上幸三会員によると、郵便局の後は中電になったそうです)

戦中、戦後にこの郵便局に勤めていた、現在88歳の山家在住の藤村得眞様から伺った話です。

広島、福山、呉等が空襲に遭う中、これらの地域の郵便物が一度、この三次郵便局に仕分けの為に集められたそうです。ものすごい数だったと伺いました。また、戦後、日本が進駐軍に占領されていた時は、この三次に集められたこれらの郵便物が、占領軍の検閲のため九州に送られていたそうです。そして、開封、検閲の後、また三次に戻されたそうです。

そこで藤村さんが驚いたのは、セロテープで封をしてあったということです。今では一般的なセロテープも、当時の日本人のほとんどは知らなかったのです。アメリカは凄い!このセロテープを見て実感したそうです。



写真提供: 藤村得眞様 (S30年中頃の三次町本通三次郵便局)

文: 和田ひとみ会員

みなさんこんにちは。本日は職業奉仕委員会担当です。広島県議会議員下森宏昭県議をお迎えしております。県政の進行状況とか、中高一貫校について、歯切れのよい話が聞けるとと思いますので、よろしくお願ひします。

上田秀樹職業奉仕委員長

三次にもレベルの高い学校を

広島県議会議員 下森 宏昭



皆様、こんにちは。歴史と伝統ある三次中央ロータリークラブでこのような場をいただき、感謝を申し上げます。今日はせっかくの時間ですので、堅苦しい話は無しにしてお話しさせていただきたいと思ひます。

昨年一年間の広島県を振り返ってみると、災害という言葉につきる一年でした。県内一円ですが、約109名がお亡くなりになり、5名が行方不明です。心からご冥福を申し上げます。県では復旧復興に丸となっておりますので、皆様方にも色々な角度からご支援ご協力を賜りますようお願い致します。5年前の安佐南区の災害では77名がお亡くなりになりましたが、それよりも多く、広島県政始まって以来の災害だと思ひます。

大体の被害が総額8000億円といわれています。県の一般会計予算が、約1兆円ですので広島県の予算並みの被害額があったということで、本当に大変なことです。

今回の災害で、査定ができる、現場に行つてどれだけの延長距離が流されているか、高さ、幅等を測量しなければいけません。測量会社がない。査定するための設計会社が少ないんです。実際に激甚災害法ということで、国が9割以上の予算を付けますが、査定を受けて設計、予算をつけたのですが、業者が少なくなっているんです。3年間で災害が整理しなければならないのですが、終わらないのではと言われております。

みなさまに、備後新報をお配りしています。かねてから、私は、川がジャングルになっているじゃないか、川が機能していない、ということをやつと言ひ続けてきました。おかげで、広島県の年間10億円くらいの規模でしたが、1億円ずつ上げてきてくれています。国から各委員会委員長だとか、視察に来られて各地域を回つたときに、広島では川が崩壊して亡くなったという例がありませんでした。河川堆積除去をしているじゃないかと委員長が聞くと、「下森県議がずっと言われて予算をつけてきた。」と言われております。評価が高いんです。備後新報は福山市が配られていないので、新聞をもってご報告をさせていただきます。

私は以前から川の樹木を撤去しなければならないと考えています。国会議員と話をしており、馬洗川は国交省管理区域ですので、樹木を取つていただきます。長土手のものを伐採させていただきました。目に見えるので地元の方には非常に好意的で、高く評価を頂いております。今回、三次管内だけで、河川内の堆積土砂を取りましたが、半年で3億円あまり、三次管内でお金がかかっています。県でも優先順位をつけながら堆積物の除去をしていますが、スピードを上げないといけないと思ひます。地域でどうしても取つてくれと言われても、優先順位を上げてやりたいと思ひますので、忌憚のない意見をお願ひします。

豪雨災害以降、経済が衰退し、観光客も衰退しました。観光客は40%激減です。リーガロイヤルホテルでは、1ヶ月で約1億円の赤字だったそうです。赤字の原因は、結婚式、宴会取りやめ、外国人の方のキャンセルなどだそうです。7～9月は厳しかったようです。カーブ3連覇のころから観光客が増えまして、年末は前年並みに戻つたと伺っています。

しかし、一番の問題は、ビジネスホテル、空きが無くなってきています。昨年暮れのデータですが、稼働率が99.9%です。土日泊まる場所がないという現象がおきました。私もいろいろ泊まりますが、APAホテルも週末になると2、3万円くらいになって、ホテルが取れない状況になります。1000人以上の国際会議ができるホテルがほしいということで建設ラッシュです。

災害が起きてから1番の悩みは、なかなか避難をしていただけないことです。一軒家のあるおじいちゃんが、床上浸水になるから避難してくれというのに、「わしの家じゃけえ、二階におりや大丈夫。」と言われるんです。避難していただ

けない、どこに避難したらよいかというのがわからないというのが問題点です。防災を地域で訓練もしていただいているが、全ての方にはされていないという課題があります。今回は、三次では一人も死亡者がいなかったことをありがたく感謝をしています。

災害で亡くなった方がいないのは、地域の方々が山、森林の整備、県道の草刈りをボランティアでやってくれたり、地元地域の環境整備をしてくださっていたからこそと確信しております。

特に、島敷地域、卸センターがかなりの被害を被りまして、グループ補助金を使いまして、頑張らさせて頂いています。地域で私が聞くことが、大雨とか局地豪雨が来たときの避難勧告や指示は、ケーブルテレビ、オフトーク通信なのですが、なかなかすぐには避難してもらえないという現状です。昔は各地域にサイレンがありました。戦争のときにサイレンが鳴ったら避難するというもので、こういう形に戻ってほしいのではと思っています。こういうことを、県、皆様と一体となって進んでいきます。

広島に住んでよかったと思える政策で4つのテーマを掲げています。湯崎知事は土の香りのしない知事だと思います。テレビで知事を見たときにどういイメージかと聞くと、グローバル、イノベーション、サイクル、育メン、シティーボーイなどです。非常に優秀な方ですが、「あなたは農業林業畜産、土の香りがしないよな。」といつも言っているのです。最近では避けられるようになってしまいました。農業林業畜産で栄えてきた歴史もありますし、故郷三次にもっと、土のおいがする、稲刈りをする、というようなことをして知事のイメージを払しょくしたいと伝えています。

知事が一番力を入れているのは、「人づくり＝教育」です。今の子どもたちの教育をしないと将来はないということです。これだけは知事と同じ考えです。

三次に中高一貫教育校を設置したいと9年間やってきました。4月1日からできましてスタートすることになりました。80名の合格発表がありました。状況を聞くと、1.8倍の合格率でしたが、応募は7:3の割合で7が三次市内、3が市外です。合格者も同じ割合だということでした。寮を設置してないので、市外からの子どもが受験しなかったということかと思えます。教育委員会と議論しているのは、高校の寮も満杯なので、新しく建てるのがいいのか、県の社宅に空き家がたくさんありますので、再活用したらどうか、ということも議論していると言っています。80人の子どもがスポーツできるグラウンドも必要ではないかと言っています。三次市も協力すると言っています。問題は4月1日からあらゆる課題を整理しなければならないと思いますが、ぜひ皆様方ご期待いただきたいと思います。

グローバル社会で、三次にもレベルの高い学校をもってきたい、ということです。1学年2クラスをわっているのが、三次青陵、日彰館です。教育委員会は廃校にしたいという

ことですが、今の三次高校の学力レベルを三次青陵、日彰館が担ってくれば、残せるだけの要素はあるということです。中学校の子どもが高校に上がるのは600～700人おります。三次、三次青陵、日彰館に残るかという、6割しか残っていません。4割の子が出ていきます。勉強したいという子は広島に行きます。こういった子たちを残すということで意義のある学校になるのではと思っています。

東広島の中高一貫は、東大、京大各5人というレベルです。誘致した時に施設、環境も大切ですが、いい先生を集めてくれと教育委員会にっています。教育委員会はみんな良い先生だと言いますが、違います。いい先生を集めてさらに発展するよう頑張りたいと思います。

3月末で任期が終わります。4期目チャレンジしたいということで、お願いしていますが、一生懸命今後も頑張ります。絶大なるご指示をお願い致します。最後までご清聴ありがとうございました。

質疑応答

安藤会員

600～700人中学生がいるということですが、3歳児は400人割ってます。それを長期的に考えて頂かないとこれからもっと大変です。

下森議員

ご指摘の通りです。それと、広島県は約6,000人が、県外に出ているんです。中国5県でも飛びぬけて多いんです。背景は、実をいうと医学部の大学は広島には広大一つ、岡山は三つあります。大学のレベルも上げないと、と思いますが、企業の問題もあろうかと思えます。

子どもの数は減っていますが、平成16年に62,000人の人口がいましたが、今53,000人です。人口が増えることを考えないといけんと思えます。大学を誘致すればいいんじゃないか、それが難しければ市立大学を作ればいいんじゃないか、誰も考えない発想を持ってこない、魅力ある三次にするためにはどうすべきかと訴えないといけないと思えます。先生のご指摘の点はよくわかっておりますので、注視しながら今後も頑張っていきたいと思えます。

■謝辞.....角谷会長
■点鐘.....角谷会長

